

2022年度 学校自己評価システムシート (秀明大学学校教師学部附属秀明八千代中学校)

目指す学校像	常に真理を追究し、友情を培い、広く社会に貢献する人間形成を目的とする
--------	------------------------------------

重点目標	1 自主学習習慣を身に付け、生涯にわたって真理を追究する力を育成する。 2 集団や社会の中で互いの個性を尊重し、健全に生活する力を伸ばす。 3 家庭と連携し、持続可能なより良い社会の創生を目指して自己実現を図る志を養う。
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学校自己評価					学校関係者評価		
年度目標					年度評価(3月31日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> 誓いの言葉、自学自習の記録により、目標を立てて具体的に努力を積み重ねる指導を行っているが、目標の明確化や学習意欲に課題があり、学習習慣に個人差がある。 	自主学習習慣の確立と学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 「自学自習の記録」の「学習の記録」を用いて生徒の現状を的確に把握する。 	①「学習記録」による自主学習習慣の状況 定期考査の振り返り、「学習記録」および「学期を振り返って」の記載内容 ②PGTプログラムの学習状況	<ul style="list-style-type: none"> 「学習記録」は担任が確認し、「生徒へのメッセージ」欄にコメントを記入した。定期考査の振り返り等により、主体的に学習に取り組む態度を高めた。 PGTプログラムに各学級において取り組み中間的な成果を文化祭で発表した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の時間と学習の質の向上が課題であり、自学自習の記録に家庭学習を記録させ、確認・助言をする。 活動プログラムが段階的に再開できたが、年間を通したプログラムを改めて整備して実行する。
	<ul style="list-style-type: none"> 思考力・判断力・表現力を育成するためにスキルコードを開発し、指導と評価を一体的に改善しているが、指導・評価両面において改善途上にある。 	授業の改善と指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 授業・定期考査においてスキルコードを活用し、「知る喜び」を実感させる学習指導を行う。 研修授業を行い、教科で検討会を行って授業を改善する。 授業アンケートの結果をもとに授業を分析して改善する。 	③授業・定期考査におけるスキルコードの活用状況 ④研修授業の実施結果、検討会の状況 ⑤授業アンケートの改善状況	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査の全ての教科の問題にスキルコードを記入し、出題の狙いを生徒に周知して、観点別評価に結び付けた。 主体的・対話的で深い学びを実現するために、スキルコードを活用した指導案を作成した。 アンケート結果の分析を校長に報告し、継続的に授業を改善した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> スキルコードが教科間でまだ安定していないので、教科係会議により検討を重ねる。 生徒の主体性・協働性に課題があるので、授業をさらに工夫する。 ICTや新しい教育方法等の研修に努め、評価の向上を目指す。
2	<ul style="list-style-type: none"> 心の学習を中心に、基本的な生活習慣を確立し、自他を尊重し、学校生活をより良くする指導を行っているが、人間関係能力の向上に課題がある。 	心の学習	<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事を事例に、正しい判断力や思考力を身に付けさせる。 頭髪・身だしなみの指導は、全教員が一体になって行う。 道徳の授業で話し合い等を行い、学校生活の課題を主体的に解決する。 	⑥新聞記事の活用状況 ⑦頭髪検査の合格状況 ⑧生徒の人間関係の状況	<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事を教員が毎日選んで教室に掲示し、メールでも配信して、考えを書かせた。 頭髪検査、身嗜み指導を定期的に行った。 人間関係において問題が起きた場合は、組織的に解決をした。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事を元にした意見発表、討論まで指導のレベルを上げる。 身嗜みを整える意義の理解が不十分な生徒の社会性を高める。 多様性、包摂性(D&I)の意識を高め、互いに尊重し合う精神を醸成する。
	<ul style="list-style-type: none"> 社会性を高めるために5つの約束を遵守する指導を行っているが、インターネット等の影響により規範意識に課題がある。 	5つの約束	<ul style="list-style-type: none"> 「善いことと悪いこと」「許せることと許せないこと」の区別をきちんと理解させる。 	⑨「心の学習」の題材に対して生徒が作成した文章の内容、学校生活の状況	<ul style="list-style-type: none"> 学校長の訓話の内容について、自身の経験を踏まえ、考えをまとめることができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> SNSやスマートフォンの使い方に課題があり、外部講師の講話や学級での話し合いを通して規範意識を高めると共に、スマートフォンとの距離の取り方も学ぶ。
	<ul style="list-style-type: none"> 父母から授かったかけがえない命・身体を互いに大切に指導を行っているが、自己管理意識や自己肯定感の低さ等に課題がある。 	健全な生活	<ul style="list-style-type: none"> 生活アンケートや面談の実施によりいじめの防止に努める。 新型コロナウイルス感染予防指導を通して、生活の安全に対する意識や共生社会実現への意欲を高めた。 	⑩生活アンケート、面談の実施状況 ⑪出席状況、「自学自習の記録」の記載内容	<ul style="list-style-type: none"> 生活アンケートは月に1回程度実施、生徒面談は月に2回程度行っていじめの防止に努めた。 それぞれの振り返りにより、目標を持って努力をする習慣を身に付けさせることができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 面談、生活アンケート、アプリでの状況把握を継続する。 コロナ禍による、前向きに挑戦する意欲や自己肯定感の低さが課題であり、様々な働きかけを行う。
3	<ul style="list-style-type: none"> 家庭と連携し、保護者の立場になって有為な社会人としての資質を育成しているが、コロナ禍で保護者会を十分に実施できていない。 	家庭との「共育」「協育」	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会・三者面談を感染症拡大防止に留意しながら実施し、学習面や生活面、進路について共通理解のもとに、生徒の将来のために話し合う。 	⑫保護者会、個別面談の状況	<ul style="list-style-type: none"> オンラインで保護者会を2回(4,9月)、三者面談は対面・オンラインの選択式で3回(7,12,3月)実施し、多数の参加があった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> オンラインを有効に活用し、保護者会には今年度以上の参加を呼びかけ、学校と家庭の「共育」、「協育」を促進する。
	<ul style="list-style-type: none"> 志望する進路を実現させる指導を行っているが、6年間を見通した系統的な指導及び大学合格実績に課題がある。 	志望進路の実現	<ul style="list-style-type: none"> PGTプログラムを核にした系統的なキャリアガイダンスを行い、生徒の進路意識を高める。 	⑬学びの記録、学校行事の振り返りなどの「自学自習の記録」への記載状況	<ul style="list-style-type: none"> 学びの記録を「自学自習の記録」にまとめることができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 新たに土曜日に実施するキャリアプログラムへの参加を促し、進路適性検査等を行って進路意識を系統的に高める。
	<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献の志を高める指導を行っているが、経済優先の風潮の中で、持続可能性を意識した徳心が育っていない。 	持続可能な社会への貢献	<ul style="list-style-type: none"> 全ての学習をSDGsの視点で捉え、地球社会への貢献を意識して活動させる。 ユネスコスクール登録に向けて実践を積み重ねる。 	⑭SDGsの学習活動記録 ⑮ユネスコスクール登録に向けた準備の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 校外学習ではSDGsの考え方にに基づき、事前・事後の学習を充実させた。 ユネスコスクールへの登録のハードルが上がっている中で、年度末に登録が実現した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校としての組織的な取り組みに課題があるので、生徒会での討議や委員会活動をより活性化させ、学校外への働きかけを促す。ユネスコスクールと交流をする。
					実施日：令和5年6月5日		
					<ul style="list-style-type: none"> 個々に合わせた指導をして下さり、励ましの言葉掛けにより、やる気につながっている。 個人差はあると思うが、なかなか自主学習習慣が定着せず、悩んでいる。家庭でも指導しているが、本人の意思がないと思い通りにはいかない。 自主学習習慣の確立に向けて、意識の醸成を図るため、学校と家庭との連携が今以上に必要と考える。 詰め込み学習でなく、スモールステップで検定テストを行うことは学力の向上につながる。ただし、勉強の仕方がわからない生徒が多いと感じるので、具体的なやり方を指導してほしい。 		
					<ul style="list-style-type: none"> 家庭でも基本的な生活習慣に気をつけ、学校での出来事や家庭での態度について話し合う時間を作っている。 いじめをはじめ、子供たちを守る対応は、今まで以上に丁寧をお願いしたい。 交通ルールなど法に反することなどを身近なことから学んでもらいたい。 給食により、健康的な昼食を摂ることができる。 生徒へのアンケートを行ってくれるので、悩み等相談しやすい。 生徒面談では小さなことでも相談ができ、不安から安心につながるのと、とても良いことだと思う。 自己肯定感の低さ、困難を乗り越える力の低さを感じられる。便利で平和な日々の中でなかなか難しい課題ではあるが、生き抜く力を学校と共に育てていきたい。 		
					<ul style="list-style-type: none"> 総会や三者面談ではオンラインを活用することができ、大変参加しやすかった。今後、コロナが落ち着いても、オンラインを選択できる環境作りをしてもらえると参加しやすい。 いろいろな職種があるということを知って、興味のあるものを探してほしい。自分に合った道を選んでいく力を身に付けてほしい。 進路意識を高めるためのキャリアプログラムは子供たちにとってプラスになると思う。 SDGsの意識を高める学習は自宅でも生かされている。今後、実際に自分たちでできることを形にして、クラスごとに発表できれば、より意識が高まると考える。 		